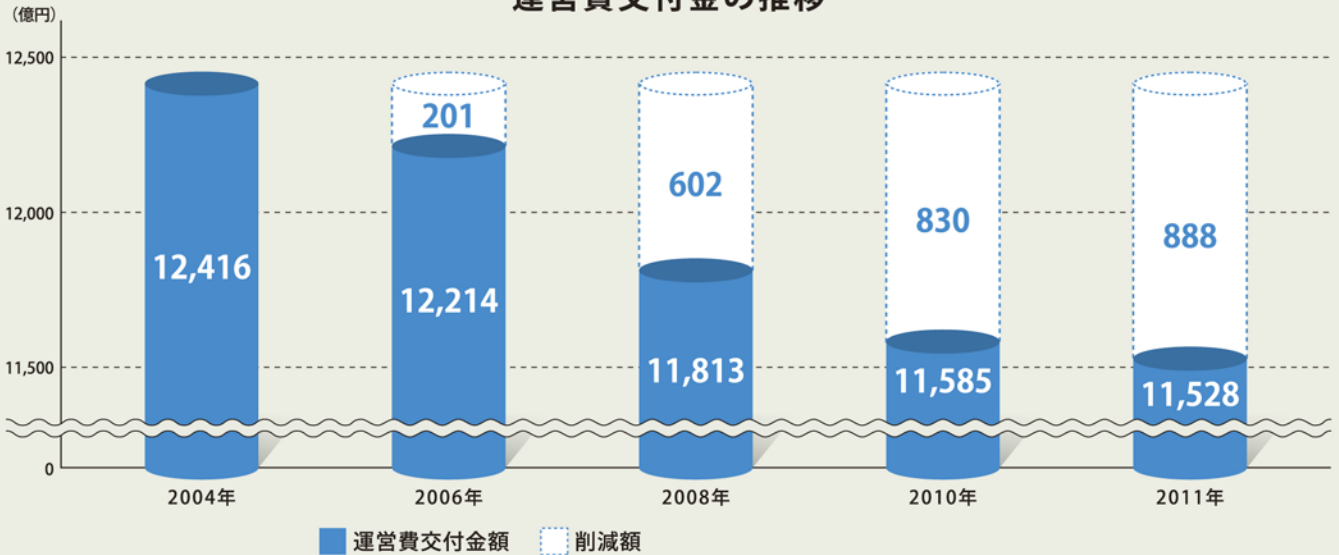


日本の将来を支える国立大学

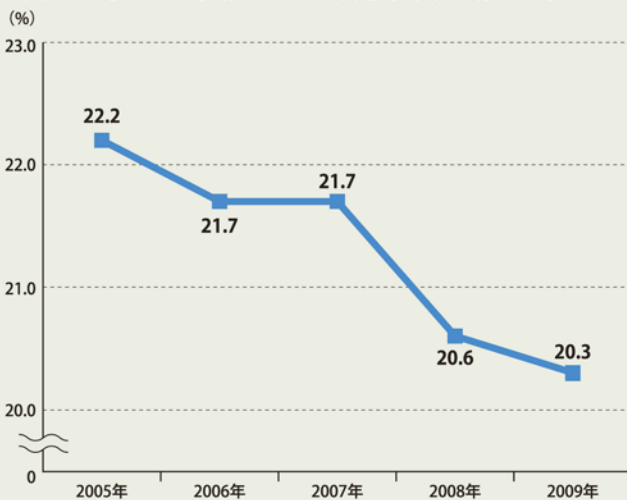
資源に乏しい日本が世界で存在感を示し、持続的な発展を実現するには、国立大学への安定的な資金の投入が不可欠です。

運営費交付金の推移



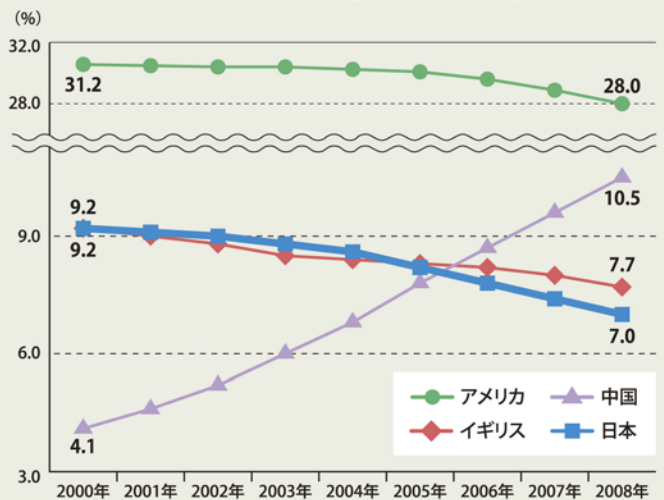
法人化後の運営費交付金削減累計額は3,710億円。

国立大学の常勤職における若手教員の割合の推移



出典: 科学技術政策研究所「大学実態調査2010」より国大協作成

世界における日本の論文数シェアの推移



出典: 科学技術政策研究所「科学研究のベンチマーキング2010—論文分析でみる世界の研究活動の変化と日本の状況—」より国大協作成

若手教員(37歳以下)の常勤での採用が減り、研究基盤が弱体化

研究活動の不安定さ・研究者の多忙化が、論文数シェアにも影響している。

教育・研究分野の活動低下が懸念されます。

国立大学への安定した支援が減少し続けると

●進学を諦める人が多くなります。

低廉な授業料が維持できなくなり、優秀で経済的に恵まれない学生の進学機会がなくなります。



●基礎研究が低下し日本が弱くなります。

基礎研究や研究基盤が崩壊し、未来につながる研究成果が生まれず、日本が弱くなります。



●地方の元気がなくなります。

地方の文化・教育・医療活動が衰退し、地方の生活や産業の活気が失われます。



●世界の「知」が集まりません。

各国の教育研究に対する取組は拡充しつつあり、研究者・学生達は日本以外を目指します。



国立大学の存在は社会の成長発展に不可欠です。

東日本大震災への対応

震災復旧に係る支援活動

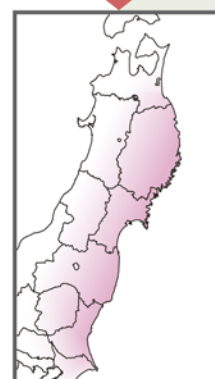
物資支援	義援金	学生ボランティア	救急医療活動
情報発信	被災学生支援		
震災に係る学術研究調査			
放射線スクリーニング		環境調査	

震災復興・防災・日本再生に係る研究と人材の育成・提供

大学の持つ研究力と人材を総動員し、震災復興と日本再生に係る知見を提供するとともに、すべての関係者と共同して現下の困難の克服に立ち向かいます。

被災者へのメンタルヘルスケアに関すること	地震、活断層、津波に関すること	放射性物質、放射能に関すること	復興から、日本再生へのシナリオに関すること
----------------------	-----------------	-----------------	-----------------------

復旧



復興
日本再生

国立大学



一般社団法人 国立大学協会

The Japan Association of National Universities

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

TEL:03-4212-3506 E-mail:info@janu.jp

<http://www.janu.jp/>